



平成24年8月9日

各位

会社名 天昇電気工業株式会社  
代表者名 取締役社長 安藤 武彦  
(コード番号 6776 東証2部)  
問い合わせ 取締役管理本部長 横山 彰  
TEL 042-788-1880

(訂正・数値データあり)「平成25年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成24年8月6日16時00分に発表いたしました「平成25年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について一部訂正を要する箇所がありましたので、以下の通り訂正いたします。

また、修正箇所には下線を付しております。

### 記

#### 訂正箇所

#### サマリー情報

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(訂正前)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	<u>3,511</u>	<u>5.5</u>	△179	—	△239	—	△224	—
24年3月期第1四半期	3,326	△35.7	△150	—	△181	—	△133	—

(訂正後)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	<u>3,537</u>	<u>6.3</u>	△179	—	△239	—	△224	—
24年3月期第1四半期	3,326	△35.7	△150	—	△181	—	△133	—

## 2 ページ

(訂正前)

### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

(省略)

しかし、薄型TV部品から自動車部品への業態切替に伴い、生産現場での研修、納入形態の確立等の経費が想定以上に発生しております。

その結果、売上高は35億11百万円(前年同四半期比5.5%増)となりました。損益面では、営業損失1億79百万円(前年同四半期は1億50百万円の損失)、経常損失2億39百万円(前年同四半期は1億81百万円の損失)、四半期純損失2億24百万円(前年同四半期は1億33百万円の損失)となりました。

セグメントごとの状況は、以下のとおりであります。

(省略)

#### 中国成形関連事業

中国国内では、価格競争の激化により、売上高の減少が続いております。

売上高は48百万円(前年同期比64.8%減)、営業損失25百万円(前年同四半期は19百万円の損失)となりました。

(省略)

(訂正後)

### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

(省略)

しかし、薄型TV部品から自動車部品への業態切替に伴い、生産現場での研修、納入形態の確立等の経費が想定以上に発生しております。

その結果、売上高は35億37百万円(前年同四半期比6.3%増)となりました。損益面では、営業損失1億79百万円(前年同四半期は1億50百万円の損失)、経常損失2億39百万円(前年同四半期は1億81百万円の損失)、四半期純損失2億24百万円(前年同四半期は1億33百万円の損失)となりました。

セグメントごとの状況は、以下のとおりであります。

(省略)

#### 中国成形関連事業

中国国内では、価格競争の激化により、売上高の減少が続いております。

売上高は75百万円(前年同期比45.6%減)、営業損失25百万円(前年同四半期は19百万円の損失)となりました。

(省略)

6 ページ

(訂正前)

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,326	<u>3,511</u>
売上原価	2,957	<u>3,146</u>
売上総利益	368	364
(省略)		

(訂正後)

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,326	<u>3,537</u>
売上原価	2,957	<u>3,173</u>
売上総利益	368	364
(省略)		